

漢字	読み	意味
阿諛追従	あゆついしょう	気に入られようとして、おもねりへつらうこと
意気消沈	いきしょうちん	元気をなくすこと。しよげかえること。
意気揚々	いきようよう	得意げで威勢のよいさま。
一意専心	いちいせんしん	ひたすら一つの事に心を集中すること。
一罰百戒	いちばつひゃっかい	罪を犯した一人を罰することによって、他の大勢の戒めにすること。
一攫千金	いっかくせんきん	一度にたやすく巨額の利益を得ることのたとえ。
一視同仁	いっしどうじん	すべてを平等に慈しみ差別しないこと。公平無私
一心不乱	いっしんふらん	一つのことに熱中して、他のものに注意をそらさないさま。
因果応報	いんがおうほう	人はよい行いをすればよい報いがあり、悪い行いをすれば悪い報いがあるということ。
慇懃無礼	いんぎんぶれい	言葉や態度などが丁寧すぎて、かえって無礼であるさま。
有象無象	うぞうむぞう	数は多いが、種々雑多なくだらしない人や物。ろくでもない連中のこと。
傍目八目	おかめはちもく	第三者のほうが、物事の是非得失を当事者以上に判断できるということ。＝岡目
遠交近攻	えんこうきんこう	利害関係の遠くの国と親交を結び、近くのを攻略する外交政策。
外柔内剛	がいじゅうないごう	表面は柔和で穏やかそうに見えるが、実は意志が固くしつかりしていること
臥薪嘗胆	がしんしょうたん	将来の成功を期して苦勞に耐えること。
我田引水	がでんいんすい	自分に好都合なように取りはからうこと。
侃侃諤々	かんかんがくがく	遠慮することなく、盛んに議論するさま。議論百出
閑話休題	かんわきゅうだい	それはさておき。話が横道にそれたのを本筋に戻すときに使う語。
起死回生	きしかいせい	絶望的な状況を立て直し、一挙に勢いを盛り返すこと。
奇想天外	きそうてんがい	普通では思いもよらない奇抜なこと。
驚天動地	きょうてんどうち	世間をあつと驚かせる事件・出来事の形容。
玉石混淆	ぎよくせきこんこう	価値のあるものとないものが、入りまじっていること。
金科玉条	きんかぎよくじょう	人が絶対的なよりどころとして守るべき規則や法律のこと。
空前絶後	くうぜんぜつご	非常に珍しいこと、まれなこと。
鶏口牛後	けいこうぎゅうご	大きな組織の末端ではなく、小さな組織のトップでいなさいという意
狷介固陋	けんかいころう	頑なで頑固なさま
捲土重来	けんとうちようらい	一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して巻き返すことのたとえ。
傲岸不遜	ごうがんふそん	おごりたかぶって人を見下すさま。思いあがって謙虚さのないさま。
巧言令色	こうげんれいしよく	巧みな話しぶりや人あたりのよさでへつらうこと。美辞麗句
甲論乙駁	こうろんおつぱく	互いにあれこれ主張して議論がまとまらないこと。
克己復礼	こつきふくれい	私欲に打ち勝ち、社会の規範に従って行動すること
言語道断	ごんごどうだん	言葉に表せないほどあまりにひどいこと。とんでもないこと。もつてのほか。
三寒四温	さんかんしおん	気候がだんだん暖かくなる意
自家撞着	じかどうちやく	自分で自分の言行に反することをすること。自己矛盾
自業自得	じごうじとく	自分の行為の報いを自分自身が受けること。
自然淘汰	しぜんとうた	長い間には劣悪なものは滅び、優良なものだけが自然に生き残ること。適者生存
執行猶予	しっこうゆうよ	刑の執行を一定期間猶予すること
自暴自棄	じぼうじき	希望を失い、自分などどうなってもいいとやけくそになること。
衆人環視	しゅうじんかんし	大勢の人々が周囲をとりかこむようにして見ていること。
出处進退	しゅつしよしんたい	身の振り方。
枝葉末節	しようまつせつ	本質からはずれた些末なこと。
正真正銘	しょうしんしょうめい	嘘偽りの全くないこと。本物であること。

初志貫徹	しよしかんてつ	初めに心に決めた志を最後まで貫き通すこと
人事不省	じんじふせい	昏睡(こんすい)状態に陥り、意識を失うこと。
心神耗弱	しんしんこうじゃく	精神が衰弱して、識別力が乏しくなり、自分の行為の結果についての判断能力が劣っていること。
醉生夢死	すいせいむし	何もせずに、むなしく一生を過ごすこと。
清濁併呑	せいだくへいどん	度量が大きいこと
清廉潔白	せいれんけつぱく	心が清くて私欲がなく、後ろ暗いことのまったくないさま。
切歯扼腕	せつしやくわん	はなはだしく怒り、非常にくやしく思うことの形容
戦々恐々	せんせんきょうきょう	恐れつつしむさま。恐れてびくびくしているさま
率先垂範	そっせんすいはん	人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと。
大願成就	たいがんじょうじゅ	大きな望みがかなえられること。
大同小異	だいたいしょうい	大差のないこと。
暖衣飽食	だんいほうしょく	衣食に何の不足もない生活のこと。ぜいたくな生活をする事。
魑魅魍魎	ちみもうりょう	いろんな化け物
直情径行	ちよくじょうけいこう	自分の感情のままを言動に表すこと。また、そのさま。
手練手管	てれんてくだ	あの手この手と、巧みに人をだます手段や方法。権謀術数
天変地異	てんぺんちい	天地間に起こる自然の災害や、変わった出来事のこと
同床異夢	どうしょういむ	同じ立場にありながら、考え方や目的とするものが違うことのとえ。
二者択一	にしゃたくいつ	二つの事柄の、どちらか一方を選ぶこと。
破顔一笑	はがんいっしょう	顔をほころばせて、にっこり笑うこと。
万物流転	ばんぶつてん	この世にあるすべてのものは、常に移り変わるということ。
眉目秀麗	びもくしゅうれい	美しく整っている顔立ち
百鬼夜行	ひゃっきやこう	また、多くの人が怪しく醜い行為をすること。
不俱戴天	ふぐたいてん	一緒にこの世には生きられないというくらいに恨みや憎しみが深いこと
不即不離	ふそくふり	つかず離れず、ちょうどよい関係にあること。
粉骨碎身	ふんこつさいしん	力の限り懸命に働くこと。
片言隻句	へんげんせつく(せきく)	わずかな言葉。ほんのちよつとした言葉。
本末転倒	ほんまつてんどう	物事の根本的なことと、そうでないこととを取り違えること。
無知蒙昧	むちもうまい	知恵や学問がなく、愚かなさま
明眸皓齒	めいぼうこうし	美しく澄んだひとみと白く整った歯。美人の例え。
物見遊山	ものみゆさん	見物して遊び歩く事
勇往邁進	ゆうおうまいしん	目標に向かって、わき目も振らず勇ましく前進すること
融通無碍	ゆうずうむげ	考え方や行動にとらわれるところがなく、自由であること。悠揚自在
四方山話	よもやまばなし	いろいろな話題の話。世間話。
理路整然	りろせいぜん	話などの筋道が整っているさま。
論功行賞	ろんこうこうしょう	功績を論じ、その程度に応じて賞を与えること。